



所沢市立荒幡小学校 学校だより

みどりの子

夏休み直前号

24. 7. 20

学校教育目標

ふるさとを愛し、進んで学ぶ子

①かしこく ②なかよく ③たくましく

成長、そして明日から夏休み

校長 橋本 徳邦

いよいよ明日から夏休みです。

子どもたちが1年間で一番楽しみにしている期間かと思えます。

4月からの4ヶ月間に子どもたちの成長した姿をたくさん見かけてきました。
たとえば。

P T Aの運営委員会でもお話したのですが、6年生が市民文化センター・ミュージズにミュージカル鑑賞に出かけたときのこと。

6年生の子どもたちは電車に乗るとき、「自然な気持ち」でシルバーシートに腰かけませんでした。すいている電車です。空いているのですから、シルバーシートにも腰かけていくのが「普通」なのかもしれません。しかし、荒幡小の子どもたちは誰一人としてシルバーシートに腰かけた子はいませんでした。しかも、「無理して」ではなく、「自然な気持ち」でシルバーシートには腰かけなかった雰囲気を感じました。

6年生には、6月の修学旅行でもすばらしい学びの姿を見せてもらいました。

東照宮の「三猿」を見学していたときのこと。

人間の人生を描いた「三猿」の8枚の彫刻の意味を説明してくださるガイドさんの説明に素直に耳を傾け、感心の声をもらっていました。その素直な心に感動しました。

確か、ボクシングの世界チャンピオンを育てたコーチの話だったと思いますが、「ボクサーとしての素質は大切だ。」「しかし、同じ素質をもった選手なら素直さをもった選手が伸びる。」「コーチするなら素直な人間を選ぶ。」という話を聞いたことがあります。コーチもプロです。チャンピオンを育てなくては自分の生活が成り立っていきません。それだけ、「素直さ」というのは成長のための大切な条件です。

6年生はそうした素直さを身に付けつつあると思います。

後日、4年生がプラネタリウム見学に行きました。4年生もシルバーシートには腰かけませんでした。また、電車の中の態度も大変よかったということです。

荒幡小で、成長のために必要な、「素直さ」が連続的に育まれ始めていると感じます。

明日からの夏休み。有意義な夏休みにしていただいて、また9月3日に元気な子どもたちの笑顔と「おはようございます」というあいさつに出会うことを楽しみにしています。